

指定管理者定期モニタリングの実施結果の公表について

◎令和6年度定期モニタリングの実施結果

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
1	市民活動センター	B	C	B	B	会議室等の稼働率は、全体として昨年度の実績を上回っており、稼働率が8割を超える部屋もある。一方で、料理室の稼働率は、依然として目標値を下回っており、稼働率は38.9%にとどまっている。料理目的以外の会議や控室としての利用は、周知の効果により増加しているが、引き続き料理室の設備のPRや改善に取り組み、料理室の良さを生かした活用につなげてほしい。光熱水費については、夏場の気温上昇及びフリースペースの開放日の増加を受け、指定管理料の増額補正を行った。（令和5年度はフリースペースをワクチン集団接種会場として提供しており、空調運転は会場提供日のみに限られていた。）今後もこまめな温度調整を継続するとともに、来年度においては気温上昇や電気の基本料金の改定の可能性を考慮した対応が求められる。市民活動支援に関しては、来館者数及び登録団体数が増加しており、継続的な支援が実施されている。市民向けの講座や交流会等については、参加状況や市民の習熟度を日常の関わりから把握して、それを反映した内容に毎年改良が加えられていることが確認できる。今後も多くの市民が行き交うセンターとなるよう新規利用者の開拓に向けた努力を継続し、その後の施設利用や継続的な市民活動への参加につなげることを期待する。	市民協働推進部 協働共創推進課
2	府中駅南口市営駐車場	B	B	B	A	令和6年度は、電気料、資材価格の高騰が続く厳しい状況のなか、経費削減に努めつつ、施設の安全性及び利便性向上に取り組むなど、適切な管理運営が行われている。駐車料金収入については、昨年度を上回り、引き続き過去最高額を更新し続けている。また、市制施行70周年記念の事業協力などを通じて、まちのにぎわいづくりにも貢献している。今後も引き続き、適切な管理運営を行いながら、施設の安全性の確保及び利便性向上に努め、より多くの利用者の獲得に努めてもらいたい。	生活環境部 地域安全対策課
3	府中駅南自転車駐車場	B	B	B	A	施設の管理・運営が適切に行われている。利用者数についても昨年に引き続き増加しており、利用者の満足度も高く、安定した経営が実現されている。また、ご意見箱の設置、利用者アンケートの実施により、利用者の満足度向上を図っている。来年度においても、利用者数の更なる増加及び満足度の向上に向けて、引き続き適切な管理・運営を行ってもらいたい。	
4	市民会館	B	B	A	A	施設の維持管理においては、PFI事業者の維持管理部門と迅速に連携し、適切に対応及び報告がなされている。また、全館を挙げて防災訓練等を実施するなど、利用者の安全確保のための取組も進められている。令和6年度は、府中の森芸術劇場の休館が重なり、相対的に貸館事業の実績向上が見られた。府中の森芸術劇場の再開後においても、PFI事業者間での連携を継続し、複合施設としての特色を活かした事業企画等を推進することで、市民の施設利用の促進に努めてもらいたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
5	府中の森芸術劇場	B	A	B	A	令和6年度は改修工事に伴う休館期間であったが、その状況を好機と捉え、通常営業では実施が難しいアウトリーチ事業に注力し、市民との接点を維持・拡充する取組や、ホール予約のオンライン化など、新たな取組が行われた。また、催しごとにSNSによる情報発信と従来の紙媒体による宣伝を適切に使い分けることで、対象となる利用者層に応じた効果的な広報が実現されていた。これにより、情報伝達の効率化が図られるとともに、宣伝費の削減にも寄与しており、経費節減の観点からも合理的かつ計画的な運営が行われていたことが確認できた。令和7年5月よりリニューアルオープンしたことから、従来の利用者に改めて利用してもらうため、引き続き情報発信に注力するとともに、利用者の安全確保及び改修工事後の施設の適切な管理・運営に努めてもらいたい。	

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
6	府中の森芸術劇場分館	B	B	A	A	府中の森芸術劇場が改修工事に伴い休館したことから、当該施設の練習室の利用者に向けた広報活動を行ったことなどにより新たな利用者を獲得することができ、昨年度を上回る稼働率となった。施設・設備については、適正な管理が行われており、利用者アンケートでは、財団職員及び臨時職員の接遇が高く評価されている。府中文化振興財団として、利用者の安全確保対策、緊急時対応のための責任体制及び連絡網の整備、災害時並びに防火・防犯のための対応体制の整備を行っているほか、定期的に職員の研修・訓練も行っている。今後も、安全かつ快適に利用できる施設であり続けられるよう、適切な管理・運営に努めてもらいたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
7	生涯学習センター	B	B	B	A	令和6年度は、施設全体の利用者数が昨年比で114.5%となり、4.5万人の増加となった。施設別に見ても、学習施設は昨年比102.7%、体育施設は昨年比119.5%といずれも利用者が増加した。これは、施設利用促進のためにトレーニング室においてスタンプカードの配布を実施したことや、アンケートの実施、センター職員が講座受講者と直接コミュニケーションを取るなどを通じて、利用者のニーズを汲み取り、講座内容に反映させた結果、継続的な受講につながったと考えられる。今後も、更なる利用者増加に向けた新たな事業展開を期待したい。また、毎年実施している避難訓練では、毎回職員の役割分担を変え、誰がどの役割を担っても適切な行動ができる工夫がなされており、職員が変わっても後任に適切に引き継ぐことが可能であることから、有事の際の対策として評価している。施設の維持管理に関しては、設備の老朽化が進んでおり、施設の機能維持に苦慮しているが、日々の点検を滞りなく行い、利用者の安全を最優先に、既存設備の機能を移転するまで維持できるよう保全に努めている。今後も、市と綿密なコミュニケーションを続け、適切な施設整備を行うなど、施設運営に支障が生じないよう努めてもらいたい。	文化スポーツ部 文化生涯学習課
8	郷土の森博物館	B	A	B	A	改修工事により2か月間の臨時休館を余儀なくされたものの、年間を通じて博物館の資源を活かした多彩な事業が企画・実施されていた。指定管理者による継続的な努力は、入場者数の増加という成果にも表れており、休館による影響を最小限に抑えた点は高く評価できる。本館は、令和6年度に、今後30年間の利用を見据えた大規模改修を終え、安全かつ快適な施設環境が整備された。一方で、園内施設の老朽化は依然として課題であり、日常的な保守管理の重要性は今後更に高まると考えられる。施設管理については、日常点検や小規模修繕が適切に行われており、一定の水準が維持されている。今後も、来館者が安心して快適に過ごせる環境づくりに向けて、保守業務への理解をさらに深めるとともに、来館者の安全と快適性を支える重要な役割として、主体的かつ積極的に取り組んでももらいたい。	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
9	市立ふれあい会館	B	B	B	A	各項目について評価した結果、特段指摘する事項はなく、適切に施設の管理運営が行われている。今後も利用者にとって使いやすい施設となるように管理運営に努めてもらいたい。	福祉保健部 地域福祉推進課
10	市立介護予防推進センター	B	B	B	A	施設の管理運営について、基本協定に基づき適切に行われており、元気で明るい接遇により施設全体に活気ある雰囲気を与えている。空調工事に伴い3か月間の休館となったが、その間、文化センターで事業を実施したところ、介護予防推進センターを知らない層へ効果的な周知が図られた。また、11月の介護予防強化月間には、「長いきいき★フェスタ」を開催し、広く介護予防の普及啓発につなげるなど、市の介護予防の拠点施設として十分に機能している。今後、本市においても介護ニーズが高まる後期高齢者の人口が大幅に増加する見込みであり、元気な高齢者を増やすためにも介護予防推進センターの役割はますます大きくなることから、引き続き魅力ある教室や講座の開催等を通じて、これまで介護予防に取り組んだことがない市民にも利用されるよう、効果的かつ充実した介護予防事業の展開を期待する。	福祉保健部 高齢者支援課

No.	施設名称	I 市民サービスの提供	II 事業展開等	III 施設の適正な管理	IV 総合評価	コメント（要旨）	担当部署
11	市立特別養護老人ホーム よつや苑	A	B	B	A	市立の特別養護老人ホームとしての社会的役割を担い、積極的に困難ケースを受入れながら施設運営に取り組んでいる。また、全職員が救命講習を受講するなど、利用者の安全確保に向けた教育にも力を入れるとともに、介護に関する各種研修やサービスマナー研修の受講など、介護サービスの質の向上を目指す姿勢が明確である。このほか、第三者評価においては、災害や感染症を想定した訓練・研修を通じた職員の対応力向上の取組が評価されている。今後も、地域の拠点施設としての役割を果たし、市民が安心してサービスを利用できるよう、更なるサービスの向上が期待される。	福祉保健部 介護保険課
12	市立特別養護老人ホーム あさひ苑	A	B	B	A	府中市・三鷹市・調布市の三市で運営する特別養護老人ホームとして、積極的に困難ケースを受入れながら施設運営に取り組んでいる。また、利用者の生活歴を踏まえた個別ケアの実践に加え、全職員を対象に認知症や権利擁護、介護記録の意義と記述方法に関する研修を実施することで、支援の質と職員の意識向上を図っている。このほか、ＩＣＴ機器の活用により、夜間も入所者の状態を把握し、質の高いサービス提供に繋げている。面会方法やイベントの工夫を通じて、家族からの信頼も得ている。今後も、地域に開かれた施設として、市民が安心してサービスを利用できるよう、更なるサービスの向上を期待する。	
13	市立よつや苑高齢者 在宅サービスセンター	A	B	B	A	公の施設としての意識を持ち、サービスの質の向上に努めることで、利用者から高い評価を得ている。また、歩行訓練や在宅訪問による機能訓練を通じて、利用者の能力を引き出す環境づくりに取り組んでいる。更に、職員間において理念の共有を図り、積極的なコミュニケーションを促進することで、心理的安全性の高い職場環境が整備されており、サービスの質の向上にも寄与している。今後も、利用者の満足度向上を目指すとともに、地域の拠点として安定した運営を期待する。	
14	市立あさひ苑高齢者 在宅サービスセンター	A	B	B	A	利用者の意思を尊重し、集団・個別の活動や過ごし方を自由に選択できる環境を整備しており、個々の好みに応じた支援を行うことで、快適で自立的な生活の実現に寄与している。また、介護サービスの提供にあたっては、家族の不安を軽減し、交流を深める工夫として、デイサービス送迎時に苑内での様子を報告するなどの取組が行われている。公の施設としての意識を持ち、地域との交流を大切にしながら、今後も利用者の満足度向上と安定した運営を期待する。	
15	市立心身障害者福祉センター	B	B	B	A	事業運営については、サービスの質を下げることなく、他施設では受入れが困難な重度障害者をはじめ、様々な利用者のニーズに対応できる施設として、利用者の安全を確保するとともに、利用者のための多様な事業を検討・実施していることが確認された。令和6年度には、ドア to ドア送迎や災害時の避難訓練に取り組み、課題を認識しながらも事業の定着化に向けた検討を重ね、継続的事業に取り組んでいた。施設の老朽化が進むなかでも、適切な保守管理及び修繕等の施設管理が行われており、省エネに向けた取組も確認された。こうした取組により、利用者やその保護者はもとより、関係機関や近隣住民をはじめとする市民から、市の障害者福祉施設の拠点として信頼されており、地域との良好な関係が築けている。今後も適切な事業運営と施設管理の徹底を継続するとともに、更なるサービスの向上に努めてもらいたい。	福祉保健部 障害者福祉課
16	府中市立公園（68 か所）	B	B	B	A	維持・運営管理について、適切に実施されるとともに、府中公園内に設置した管理事務所を拠点とし、市民からの問合せ等についても適切に対応されている。自主事業については、昨年度よりもイベントの回数、参加人数、協力団体数が増加しており、参加者から高い評価を得るなど、順調に運営されている。今後も、維持・運営管理を適切に実施するとともに、自主事業等の充実を図り、更なる市民サービスの向上に努めてもらいたい。	都市整備部 公園緑地課

※定期モニタリング総合評価について

- (1) 各項目（Ⅰ～Ⅲ）配点基準 「A」…5点、「B」…4点、「C」…3点、「D」…1点
- (2) 総合評価は各項目評価の合計点数で決定します。「S」…14点以上、「A」…12点以上14点未満、「B」…9点以上12点未満、「C」…6点以上9点未満、「D」…5点以下